



第9期神奈川区地域づくり大学校

第3講 「いろいろな活動のカタチ」～先輩たちが語る♪私の原動力～

第3講概要

日時 : 2023年11月19日(日) 13:00~16:00
 場所 : かなーちえ(神奈川区地域子育て支援拠点)
 ゲストスピーカー:
 穂坂 光紀氏 (税理士法人エンパワージャパン代表税理士)
 岩間 良一氏 (NPO法人神奈川区多文化共生の会理事長)
 ファシリテータ : 塚原 泉氏 (NPO法人親がめ理事長)

当日のプログラム

- あいさつ・アイスブレイク
- 先輩達が語る私の原動力①穂坂氏②岩間氏
- 記者会見ワークでベスト質問&アンサータイム
- 私の棚卸ワーク (3~4人グループ)
- 情報提供・事務連絡
- 内省タイム・ふりかえりシート記入
- わかち合いタイム

■先輩達が語る私の原動力 ①穂坂 光紀さん

自己紹介

- ・子どもたちと関係性を深め、社会養育の実現をめざす日本唯一の税理士事務所
- ・2014年開業/中小企業の財務支援に特化
- 中小企業が成長しその雇用を守ることが今の子どもたちの受け皿をつくること



税理士になったきっかけ

- ・高1秋、うつ病を発症、自殺未遂「死にたい」、4か月登校できず
- 担任の先生、留年させず自ら担任を引き受け進級させてくれた
- 両親の支え 父親の涙「生きてるだけでいい」
- バイト先の店長がくれたアドバイス 「何か資格取ったら、簿記とか」
- やってみた 簿記2級→1級→税理士

言葉や姿が響いた
 「生かされた命だからこそ、
 誰かのために生きよう」

たった一言の言葉で救われる命がある ⇔ 一言の心無い言葉で失われる命がある

社会養育

- ・「産むんじゃなかった」という一言を言われた子どもたち
- ・児童養護施設や里親家庭の「社会的養護児童」を地域の企業や大人たちみなで育て地域で活躍する人材に
- ・子どもたちには無限の可能性
- ・地域の応援者が増えればその子どもの人生が変わる

大空の翼 (2018~)

- ・児童養護施設と連携した就職を前提としたキャリア教育やスキル獲得支援
- ・4年目からは顧問先である多種多様な業種の企業との連携も

子ども未来プロジェクト・事務所の空きスペースを改築し地域に開放

- ・ひきこもり当事者会の定例対話タイム会場に
- ・通信高校のゼミを開講、事務所を会場に→経営者から学びスモールビジネスを展開



←市民協働推進センターHP
 「子ども未来プロジェクト」

ex. 2次コード付き
 米粉クッキー製作販売

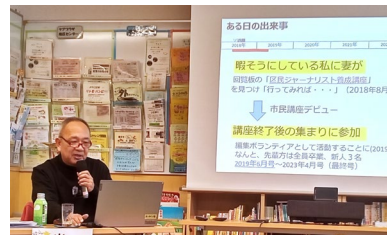
子どもたちの無限の可能性を地域の企業や大人が広げる協働モデルを神奈川区から



■先輩達が語る私の原動力 ②岩間 良一さん

自己紹介

- ・ IT 企業に 39 年勤務／62 歳で退職
- ・ 5 年間を経て現職「NPO 法人多文化共生の会理事長」に



NPO 法人神奈川区多文化共生の会とは

「在住の外国人と地域住民に対して支援、交流並びに啓発等に関する事業を行い相互間の理解を深めることにより、以下の基本理念のもと、地域文化の振興に寄与することを目的とする」

- ①同じ地域の住民として理解し合う ②地域で活躍できるように ③楽しく交流できる場を作る

5年間の道のり

- ・ 退職後の準備：してこなかったが、他の HP を参考に同じような HP を作成
 - ・ 地域活動への想い：特になかった 知らなかった
 - ・ 妻からのススめで「区民ジャーナリスト養成講座」参加
- 区民活動支援センター情報紙の編集ボランティア
- ・ 生涯学級「国際交流ことはじめ 2019」と出会い参加、「HP くらいならつくれる」→メンバーに
- ※正直 1 年間何をしている団体かわからなかった・・話しがあちこちに広がる、でも一生懸命に取り組む人達
- 「国際交流ことはじめ 2020」チラシ担当→代表者に頼まれて期間限定なら良いとし、理事長就任
- ・ 市国際局の助成金獲得／生涯学級講座にて日本語教室や学習支援教室が増え、仲間が増える
- ラウンジ創設に向けた活動が本格化し、仲間の多文化共生に対する想いを知るようになる
- ・ 2022NPO 法人化→2023 多文化共生ラウンジを受託→2024.3 ラウンジオープン予定

神奈川区多文化共生ラウンジ
Kanagawa Ward International Lounge



ふりかえると

- ・ 現役時代のチャレンジは後で役に立つ
(税務知識／法人登記／助成金申請／入札)
- ・ ボランティア活動・地域活動では何が役に立つかわからない
- ・ インターネットがあるから、やる気になれば何でもできる

私にとってのボランティア活動の原点

最初は何をやったら良いかわからなかった

<社会貢献とか立派ではないけど>

活動していくうちに人と繋がり、勉強になることがある

ボランティアにとって、「大切なこと」

- まずは、自分が楽しむ
- 支援する・される関係ではなく、共に学ぶ
- 自分のできることを無理なく続ける

■記者会見ワーク・グループ (3~4人) 各自がスピーカへ質問を考え、一つに絞る & アンサータイム

(穂坂さんへの質問)

Q. 傷ついた子にかける魔法の言葉はありますか？／大人に不信感のある子にどうやってこちらを向いてもらうかかけていることは？／将来の夢を持ってない子にどうスイッチを入れてあげるか／“第一歩”をどう引き出しましたか？／アイデアがいきづまったときの原動力はなにか／横浜で始められたきっかけは何ですか？／理念をビジネスにする・綺麗ごとにならないためには？／5年後・10年後の目標・めざすところ・ゴールはありますか？そのための課題は？

ー A. フェアスタートという NPO との協働事業としてスタート。テーマをもつ団体と一緒にいき、子どもを紹介してもらう。周りの人にも子どもについての誉め言葉を伝え、間接的に伝わっていたり、直接「すごいじゃん」と伝えることも。支援する側・される側ではなく、中小企業も人材不足なので、この事業は

子どもたちにとっても就労先にとってもいい循環になる。土業者は7万箇所、社会的養護をうける子どもは4万2千人、このパッケージを、モデルとして広げたい。

地域活動に関わる皆さんとつながりが生まれた。企業と地域の架け橋となる役割を感じている。

(岩間さんへの質問)

Q. 神奈川区に住んでいる外国人はどんな人が多いですか。国籍・年代・どんな仕事してる？/相手の国の文化が違う中でお互いがどのように理解しあっていますか？/現在の活動の原動力になっている、IT業界で現役の時、どのような事をやっていたか？/自身の環境や心身の変化などで、引継ぎをどうしていきたいと考えているのか/1年間何をしているか分からない団体に通い続けた理由

一A. 中国人・ネパール人が多い。8000人。18区中4番目の数。現役時代は設計を担当していた。65歳まで働く退職後体力気力の余力がないように感じ、早期に退職。先をみずえること大切。一年通い続けたのは、時間があつたから。悪い人たちではないなという感覚があつた。日曜日の反町駅前サロン、いろんな人が。文化を聴くという姿勢、それもありがたなこと

※話をききながら、常になぜだろうと問いを立てることが大切

■私の原動力を探る～棚卸ワーク+現時点での私のアクションプラン発表

- ・3~4人グループ（テーマ別でグループ化）で一人ずつ“私の棚卸ワークシート”を発表（3分×人数）
- ・グループ内で他の人からふせんで「いいね！」をもらう（3分×人数）
- ・A4用紙に現時点でのプランのタイトル・簡単な内容・キーワードを記載して発表



私の棚卸ワークシート			
アクションプラン表 (表)			
発表者	大まかな事業や生活した事柄	その得意にしたいこと	キーワード

- 地域の魅力を発信する
- オンラインの子どもの居場所・メタバースもためしたい！
- 管理栄養士を生かしてみんなが楽しい地域の場をつくりたい
- 子どもたちの学びを深める機会・場をつくってみたい
- ココカナフカホリ隊（仮称）～未来志向の地域の深堀り・再発見を目指して～
- 自分を生きる！ひとつの実践・これまでの経験をフルに活かして地元へ貢献します
- ありのままを受け入れられるワークショップをしていろいろな人と出会いたい
- 生きづらさをかかえている人、こまっている人たちの人間マッチングアプリになりたい
- ハートフル消防団 地元愛にあふれる消防団の方に障がい児・者の理解をしてもらえると心強い
- 防災でつながる神奈川区
- みんなが幸せになるアクションプランを考えます
- 少しでもみんなが自分の元気を保つすべを身につけるような手伝いがしたいです
- 老若男女が集える“場”を作りたい おおきな人の“輪”“和”を
- 法律関係（相続・後見・消費者被害）に関する勉強会
- 出会いとつながりといやしな場（一つのツールとしてハンドセラピー）
- 町内会のホームページを開設して地域のコミュニケーションツールにしたい
- 自分も楽しみながら地域貢献活動
- 飛び出せ地域へプロジェクト～活動者を増やそう～
- 地域の居場所（実家のような）多世代が自然に交流できる

■ふり返りシート記入&わかち合いタイム～受講生気づき抜粋

- ・地域活動のきっかけは、本当に偶然であっても良いこと、そのことを活かすこと、一期一会が大切なことを学んだので、一期一会の場を作ることをいかしていきたい
- ・気になること、場所にとりあえず足を運び体感したい。9期生の活動にも参加してみたい
- ・対話することの大切さを学んだので、いろいろな人に話を聞きに行きたい
- ・まだまだゆっくり考えたいけれど、とりあえず今は自分の状況をしっかりかためたいと思いました
- ・人とのつながりができて嬉しいです。今後、皆さまのお力をお借りしたいです
- ・年内に方向性を仮決めしてみようと思いました
- ・自分はどうしたいかを常に考えながらも自己中心になることがないよう気をつけて楽しく活動していききたいと思います
- ・自分がわからなかった自分を知ることができました
- ・日々子どもたちとのかかわりで、ささいなひと言（ポジティブな）が言える人でありたいと思いました
- ・じゅうなんに。煮つまったときは、流れに身をまかせてみる事もよし
- ・動く、信じる、ひろがる、つながる
- ・もっとやりたいことをはっしんしていきたい！仲間やいろんな人をまきこんでいきたい！
- ・色々な方のご意見をききながら、機会をとらえて深堀りしていきたい
- ・岩間さんの話をお聞きし、今後の自分の活動への勇気をいただきました。ありがとうございました
- ・毎回学びと刺激があります。このような場を提供いただき、感謝しております
- ・ゲストスピーカーのお話し内容がすばらしく、大変参考になった。また刺激を受けた
- ・穂坂さん、岩間さんのお話がとてもためになりました
- ・ボランティア活動をすることのハードルがさがり、何でも興味があったらやってみる！行動してみることが大切だなと思いました
- ・生きるって素晴らしい。学問じゃない勉強（学習）ができて本当にありがたい
- ・本日は「自身のやりたい事」を再確認できた良い機会だった。実際に文字に起こしてみると、アクションプランに繋がる事が多々あると実感
- ・活動をはじめのきっかけは「偶然」であること、この偶然や出会いを大切にすることが、本当に重要であることを学んだ
- ・何か自分で作らなきゃ！と気張ってしまいがちだが、そうでなくても思いが共通している既存の場に参加することでも良いのだと気づいた（少しホッとしました）
- ・棚卸しワークシートへのフィードバック、俯瞰して意見をいただけて気づきがあった。ふせん嬉しかった！大切にします！
- ・いろいろな人がいたのしいです。人と人がつながりたいと思っている人がいるのがほっこりします。年齢はかしこさと関係ないなあとしみじみ思いました
- ・立ち位置が違くと、いろいろな考え方や起こす行動力が違うと思った。いろいろな人と関わる事でとても勉強になる